

次の37種ある。 (注) S=シャトル R=ラケット
サービス関係 第13条第1項、第9条第1項

- 1 不当に遅らせた [9-1-(1)]
- 2 境界線に触れた [-(2)]
- 3 両足の一部がコート面に接していなかった [-(3)]
- 4 サーバーが最初にSの台を打たなかった [-(4)]
(羽根打ちサーブ)
- 5 S全体がサーバーのウェストより下でなかった [-(5)]
- 6 Rのシャフトが下向きでなかった [-(6)]
- 7 Rの前方への動きが継続しなかった [-(7)]
- 8 SがサーバーのRから上向きに飛行し、ネットの [-(8)]
上を通り、レシーバーのサービスコートに落ちなかった
- 9 Sの打ちそこない(空振りほか) [-(9)]
- 10 サーバーのパートナーがレシーバーの視界をさえぎった [9-5]
- 11 Sがネットの上に乗ったとき 13-2-(1)
- 12 Sがネットを越えた後、ネットにひっかかったとき 13-2-(2)
- 13 レシーバーのパートナーがシャトルを打った 13-2-(3)

一般共通

- 1 Sがコートの境界線の外に落ちた 13-3-(1)
- 2 Sがネットを通りぬけるか、下を通った -(2)
- 3 Sがネットの上を越さなかった -(3)
※越えそこなった→通らなかった
- 4 Sが天井、壁に触れた -(4)
- 5 Sがプレイヤーの身体、着衣に触れた -(5)
- 6 Sがコート外の物、人に触れた -(6)
- 7 SがR上に捕らえられ保持されて、振り投げられた -(7)
- 8 Sが同じプレイヤーに2回連続して打たれた
- 9 Sがパートナー同士で連続して打たれた
- 10 Sがラケットに触れて、相手コートに向かわなかった
- 11 R、身体、着衣がネットや支持物に触れた 13-4-(1)
- 12 ネットの上から相手コートを侵した -(2)
- 13 RとSとの最初の接触点が打者側でなかった -(2)
- 14 ネットの下から相手コートを侵して、相手を妨害 [-(3)]
したり、注意をそらしたりした
- 15 相手の正当なストロークを妨げた -(4)
- 16 故意に相手の注意をそらした -(5)
- 17 インターバルの違反 16-7-(2)

その他

- 第16条の違反行為がはなはだしい、繰り返す、継続 13-5
してやめないとき、例えば
- 1 プレーを継続しなかった [16-1]
 - 2 体力や息切れを回復するための遅延行為 [16-4]
 - 3 主審の許可なしにコートを離れた [5-(2)]
 - 4 プレーを故意に遅延、中断した [16-6-(1)]
 - 5 シャトルのスピードや飛び方を故意に変えた [-(2)]
 - 6 見苦しい服装、下品で無礼な態度、言動 [-(3)]
 - 7 不品行または不快な行動 [-(4)]
ただし、1回めは警告 2回めはフォルト [16-7-(1)]
また、なお続けた場合、失格させることができる [-(2)]

レットの種類

次の7種ある。 (注) S=シャトル R=ラケット

競技規則第14条関係

- | | | |
|---|--|------------|
| 1 | レシーバーの態勢が整う前にサーバーがサーブした | [14-1-(1)] |
| 2 | サービスのときレシーバーとサーバーの両方がフォルトをした | [-(2)] |
| 3 | Sがネットの上に乗った、またはネットを越えてた後、ネットにひっかかったとき (ただし、サービスのときは除く) | [-(3)] |
| 4 | Sが分解してSの台が他の部分と完全に分離したとき | [-(4)] |
| 5 | コーチによりプレーが中断されたり、相対するプレーヤーが注意をそらされたとき | [-(5)] |
| 6 | 線審が判定できなくて、主審も判定できないとき | [-(6)] |
| 7 | 不測な事態や突発的な事態がおこったとき | [-(7)] |

不測な事態や突発的な事態とは

インプレーで、1 隣のコートからSが飛び込んできてプレーの妨げになったとき

2 地震、停電、雨漏りが起きたとき

以上